

わたしたちの職場へようこそ！

市役所の外から見てみると、どんな仕事をしているのか分かりにくい各職場の業務内容や雰囲気を紹介するのが職場見学ツアーのコンセプト！

ということで、連載第2回目は、課名だけ聞くと何をしている課なのか、ちょっと想像しにくい？！そんな市民協働推進課を特集します！

第2号



市民局 市民協働推進課

発行日 平成29年3月17日



▲市民協働推進課のメンバー。協働推進係、NPO認証係、市民プロジェクト推進担当の3つからなっています。

仙台は古くから市民の主体的な活動が盛んなまちです。広瀬川の清流を守る活動や、良好なコミュニティの形成、まちの賑わい創出などにも、市民の力が発揮されてきました。仙台市は、そうした市民の皆さんとともに、知恵と力を出し合いながらまちづくりをしていく『市民協働』を市政運営の柱としており、市民協働推進課はその仕組みや環境づくりをしています。

課長、係長2名、主査1名、主任3名、主事7名、嘱託職員3名、臨時職員1名の計18名の職員で構成され、市民プロジェクト推進担当課長が市民参加のプロジェクトを統括しています。平均年齢36歳（仙台市の一般行政職平均年齢は43歳）と比較的若手の多い職場です。

1. 主な業務内容の紹介

市民協働推進課は、地域団体や市民活動団体、教育機関、企業、行政など多様な主体の協働によるまちづくりの推進に取り組んでいます。

協働推進係では、市民の皆さんと市の関係課が協働で地域課題の解決に取り組む「市民協働事業提案制度」や、多様な主体が連携し社会的課題の解決やまちの魅力創造に取り組む事業に対し助成する「協働まちづくり推進助成事業」、職員の協働力向上を目的としてNPOへ職員を短期派遣する「NPO留学」、学生のアイデアを地域課題解決に生かす「仙台ミラソン」などなど、バラエティ豊かな事業を実施しています。

NPO認証係では、NPO法人の設立認証や運営に関する相談対応のほか、各種セミナーの開催などを通してNPO法人が広く市民の信頼を得ながら、まちづくりの担い手として力を発揮できるよう支援しています。

市民プロジェクト推進担当では、市民によるまちづくりプロジェクト「WE PROJECT」の企画運営や、東西線沿線のにぎわいづくりに関する事業、地下鉄国際センター駅2F「青葉の風テラス」の管理運営などを行っています。

また、「仙台市市民活動サポートセンター」を指定管理者であるNPOと連携しながら運営しています。



▲「NPO留学」事業で、市職員とNPOスタッフが「協働」について意見交換。こうしたイベントや研修の企画を行うこともあります。



▲NPO法人認証事務では、窓口で相談対応も行います。

2. うちの課のイチオシ！（市民プロジェクト推進担当「WE PROJECT」の企画・運営）



WE PROJECT SENDAI 2016

始動。

楽しい街は、楽しくつくれ！

仙台市では、地下鉄東西線の開業を契機に、市民がまちづくりに参加する機運を高めようと「WE PROJECT」事業を発足させており、市民プロジェクト推進担当が運営しています。

「WE PROJECT」には、古民家再生やスポーツツーリズム等、様々な分野で活躍する講師の方からまちづくりを学ぶ市民講座「WE SCHOOL」や、東西線沿線の魅力や市民活動情報を発信するメディア「WE TUBE」などのコンテンツがあり、担当者は、このプロジェクトが市民にとってより良いものとなるよう、企画や調整、提案などを行っています。

WE PROJECTのホームページはこちらから！

<http://we-sendai.jp/>



▲平成27年12月に開業した地下鉄東西線



▲WE PROJECTロゴ（上）とWE SCHOOLの様子（下）

3. うれしいこと、大変なこと

主な業務内容紹介にあった「市民協働事業提案制度」や「仙台ミラソン」、イチオシで紹介した「WE PROJECT」、このほかにも様々な事業を市民協働推進課では実施していますが、その中に必ずついて回るのが「調整」という役割。

市民活動団体であったり、大学であったり、市役所の他部署であったりと相手方は様々で、それぞれのミッションや仙台というまちに対する熱い思いがある中での組織間調整は大変です。



▲関係者との打合せ。議論が白熱することもある。これも協働の一場面です。

でも、そういう過程を乗り越えて、目標を成し遂げた時は達成感があり、うれしいですね！振り返ってみると確かに苦労も多かった（笑）と思いますが、その分得られるものも多く、職員としての成長が実感できる部署だと思います！

（入庁5年目職員）

市民協働推進課 協働推進係 A主事の年間スケジュール

4月	課内庶務・予決算事務（随時）
5月	仙台ミラソン 事業企画
6月	企画案作成、関係団体との打合せ、他部署への協力依頼、広報などを行います。
7月	
8月	仙台ミラソン ワークショップ開催、NPO留学 事業企画
9月	NPO留学 受講者庁内募集
10月	仙台ミラソン セミナー開催 NPO留学 研修開始
11月	仙台ミラソン 中間発表会 留学している職員のフォロー、実施報告会の準備など
12月	
1月	NPO留学 実施報告会
2月	仙台ミラソン 最終発表会
3月	各事業のまとめと次年度に向けた計画作成

係や担当する業務によって、スケジュールや繁忙期はいろいろです。「市民協働推進」と一口にいっても、やることはたくさん！

4. 職員から受験希望者へメッセージ

きっと皆さんは、「誰かのために役に立ちたい！」という気持ちや、「こうすればもっと暮らしが良くなるのに！」と考えたことがあるでしょう。どんな大きな施策も、始まりは職員の小さな思いや、ちょっとしたアイデアです。生活者としての視点を大切に、声なき声にも耳を傾けながら、市民との対話と協働により、ともに明日の仙台のまちづくりをしていきましょう！（市民協働推進課長より）